

質問者 青柳 はるか 議員（14番）

1 害獣被害の削減及びこれからの環境に対応した商品作物の開発について

ただいまの青柳^{あおやぎ}はるか議員のご質問にお答え申し上げます。

害獣被害の削減及びこれからの環境に対応した商品作物の開発についてであります。野生鳥獣による農作物への被害は、営農意欲の減退や耕作放棄地増加等被害額以上の影響を及ぼしており、深刻な状況が続いています。

青柳議員ご提案の利根実業高校の研究結果である園芸用青色ポットとイルミネーション用青色LEDライトを組み合わせた侵入防護柵につきましても、期待される取り組みでありますので業務の参考としていくとともに、夜間のライト設置による農作物への影響やイノシシ以外の害獣への効果等についても利根実業高校の研究を注目し、気に掛けてまいりたいと考えています。

また、侵入防護柵以外の害獣防止対策については、「沼田市鳥獣被

害対策実施隊」による捕獲活動や専門的知識を有する者による被害地の現地調査等を行い、状況に応じた捕獲・追い払い等の被害対策計画の立案、被害農家への助言、事後フォロー等を実施しています。

次に、これからの環境に対応した商品作物の開発についてですが、地球温暖化などによる気候の環境変化に対応できる作物への品種改良等の取り組みでは、沼田市井土上町にあります群馬県中山間地園芸研究センターにおいて、リンゴの早生品種で果皮の着色不良や果肉の軟化傾向の改善をした「おぜの紅」などの新品種の育成が行われています。新たな商品作物の開発には、時間や費用を要しますが、生産者、群馬県、関係研究機関等と連携し、新しい沼田のブランド開発を進めていきたいと考えています。

以上申し上げまして、^{あおやぎ}青柳はるか議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。